



ヤフー<4689>、衣料品通販サイトのZOZOをTOBで子会社化へ 4007億円を投じる



ヤフー（10月にZホールディングスに社名変更）は12日、衣料品通販サイト「ゾゾタウン」を運営するZOZOの子会社化を目的にTOB（株式公開買い付け）を実施すると発表した。ZOZO株式の50.1%の取得を目指す。買付代金は最大4007億円。ZOZO創業者で前社長（12日付で取締役辞任）の前沢友作氏は36.76%を保有する株式のうち、30.37%についてTOBに応じる。ZOZOは会社としてTOBに賛同している。ZOZOの上場（東証1部）は維持する。

ZOZOが主戦場とする衣料・服飾雑貨は国内BtoC（企業対消費者間取引）市場の物販分野で最大規模（約1兆7700億円）。ヤフーはZOZOを取り込み、ファッションカテゴリーの品ぞろえを強化し、インターネット通販事業を拡大する。

買付価格は1株あたり2620円。TOB公開前日の終値2166円に20.96%のプレミアムを加えた。買付予定数の下限は所有割合が3分の1超に相当する33.4%に設定。買付予定数の上限（50.1%）を超える部分については買い付けを行わない。買付代理人は、みずほ証券。

買付期間は30日間とし、買付開始は10月上旬を予定。前沢前社長とは買付開始日から15営業日以内に同氏がTOBに応募する旨の契約を結んでいる。

ZOZOは1998年に設立し、衣料品通販サイト「ゾゾタウン」は日本最大級の通販サイトに成長を遂げた。2019年3月期の売上高は1184億円、営業利益は256億円、当期純利益は159億円。一方、ヤフーはポータルサイト国内最大手で、今年6月にソフトバンクの子会社となった。